

広報

# かわい

NO. 493  
平成11年9月10日



## 光る水面・・・ おもしろかったイカダ下り



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828  
発行・編集 川西町役場総務課 E-Mail: kwanisi@nsv1.tiara.or.jp (毎月10日発行)

### 人口の動き

— 9月1日現在 —

男 4,167 (-1)

女 4,247 (+6)

計 8,414 (+5)

世帯数 2,274 (-1)

( ) は前月比較

# 議会

## 報告

七月二十三日から始まった第五回川西町議会定例会は、八月十日

全日程を終え閉会しました。十日、六人による町政に対する一般質問が行われたあと、総務文教常任委員会に付託されていた川西町白倉活性化施設の設置及び管理に関する条例が委員長の報告のとおり原案どおり可決され、平成十一年度川西町一般会計補正予算(第三号)が原案どおり可決され

たあと、ロータリー除雪車二台と小型除雪車一台の取得が原案どおり可決されました。次に、にぎわい空間創出事業計画面積二万二、四〇〇平方メートル、取得予定面積及び取得予定価格について、「一万六、六〇〇平方メートル以内、十一億七、七〇〇万円以内が原案どおり可決されました。

予定者は三十三人です。続いて、資源利活用施設(雪室)建設工事(契約金額、四、九八八万円・契約の相手方、㈱丸山工務所)の請負契約が原案どおり可決されました。また、九月一日から、二十八日までの予定で第六回議会定例会が開かれています。一日に行われた

議会人事については、慣例として任期を二年としており、いったん辞職し、改めて選挙するという方法が取られました。その結果、議長には南雲教さん、副議長には清水進さんが選出されました。なお、常任委員会などの構成についても左掲(順不同・敬称略)のように決まりました。

# 議会人事決まる

## 議長に南雲 教氏

### 副議長に清水 進氏を選出

再選された

南雲 教 議長



再選された

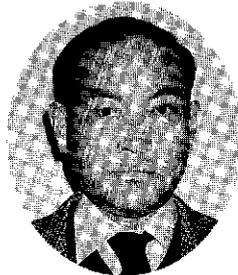
清水 進 副議長



### 常任委員会

◎委員長 ○副委員長

#### ★総務文教委員会



押木 総文 委員長

◎押木 貢 ○戸田 禎一  
清水 進 小海 博  
南雲 隆

#### ★農林環境委員会



北村 農環 委員長

◎北村 公男 ○丸山 重信

#### ★建設住民委員会



星名 建住 委員長

羽鳥 力夫 金子 澄男  
吉楽 正実 清水 美代子

◎星名 富一 ○村越 勝蔵  
高橋 幸一 上村 晴夫  
小林 正夫 高橋 一晃

### 議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長



吉楽 議運 委員長

◎吉楽 正実 ○村越 勝蔵  
清水 進 押木 貢  
北村 公男 星名 富一

さらに、次の議会人事が決まりました。

#### ◆十日町地域広域事務組合 議会議員

押木 貢 小林 正夫  
戸田 禎一

#### ◆十日町地域衛生施設組合 議会議員

北村 公男 丸山 重信

※ほかに、議長が両組合議会議員になっています。

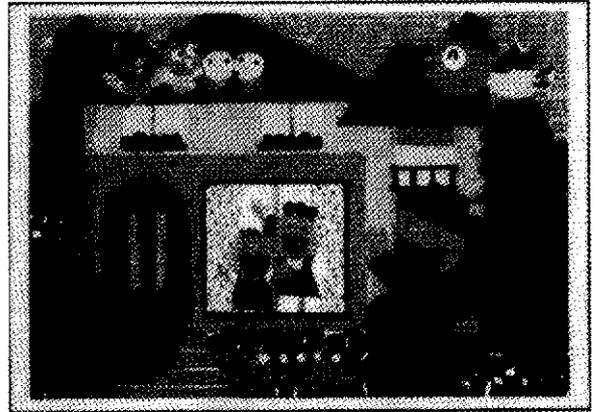
#### 監査委員に

金子 澄 男氏を選任

監査委員として、議会議員から選出されていた星名富一氏が、八月三十一日に辞職。その後任として金子澄男氏が議会の同意を得て選任されました。

四季の風が薫る街 宅地分譲申し込み受け付けは  
9月1日から9月30日まで

「中屋敷住宅団地」



詳細は、お問い合わせください。分譲条件などの募集要項を送付いたします。

現地説明会を開催いたします。  
★期日9/18・19(9時～16時)  
■現地へはお車での入場ができませんので、  
中屋敷駐車場をご利用ください。

お問い合わせ  
十日町地域土地開発公社川西事務所  
川西町役場建設課  
TEL0257-68-3111/FAX0257-68-3828



この事業は、町内の各種団体やグループが、それぞれの地域の特性や資源などを活用して個性的で魅力あるまちづくり活動に対して助成し、住民自ら実施する地域づくりを応援するものです。  
平成十一年度前期分を募集したところ、二団体から応募があり、内容審査の結果、下表のように決定しました。

地域づくり  
応援します

まちづくりの推進と地域振興

番号	申請団体	事業名・場所	事業の概要	事業費	補助金額
				千円	千円
1	高原田町内会 常会長 大塚 甚一	《事業名》 公共施設と地域住民の共生による環境整備支援事業 《場所》 高原田町内	《目的》 公共施設と住民が一体となって共生できるよう、各種交流及び快適な環境づくりを積極的に推進し、もって、ボランティア精神の高揚を図り、みんなでまちづくりに貢献することを目的とする。 《内容》 高原田町内にある4つの大きな公共施設(診療所/デイサービスセンター/特別養護老人ホーム/中学校)の除草、掃除、花植えなどのほか、施設関係者との交流を深める。	389	233
2	仙田樽太鼓 代表 高橋 雅明	《事業名》 仙田樽太鼓 《場所》 町内一円	《目的》 仙田地区は過疎化が進み、子供たちの数も少なくなっていることから、昨年からはじめた樽太鼓で町内の祭りに参加して、地区を盛り上げる。 《内容》 ・毎週火曜日、金曜日に仙田小で練習。 ・樽が傷んでいるため修理する。 ・団結力を高めるための法被をそろえる。 ・町内の祭り、イベントなどで発表する。 ・樽太鼓を記録し、保存する。	526	315

後期分の募集をします

今後、この事業を活用して地域づくりを実践する計画がある団体などは、次により後期分の募集をしますので、奮ってご応募ください。

★応募締め切り 9月30日 ★問い合わせ及び応募先 役場開発課振興係 ☎68-3111 内線312

# 介護保険を知ろう (介護保険制度の概要 < 4 >)

## 申請

介護を必要とする人のいる家庭です。介護に必要な第1号被保険者、および特定疾病で介護が必要になった第2号被保険者。

申請書提出

## 役場福祉課窓口

## 訪問調査

市町村職員や介護支援専門員が訪問、心身等に関して85項目の質問調査を行います。

## 一次判定

訪問調査の結果をコンピュータ入力します。

## 二次判定

「一次判定」の結果と「主治医の意見書」をもとに介護認定審査会にて判定します。

## 判定結果

自立、要支援、要介護1～5の7つのランクに区分します。

## 申請者に通知

平成12年2月までの申請分については、平成12年2月～3月の間に介護保険証を添えてお送りします。

## サービス提供

判定結果をもとにケアプラン（サービス計画）を作成し、サービス提供となります。

介護保険制度によるサービス提供は、平成12年4月からとなります。

平成12年3月までは、現行の福祉サービスを利用できます。



現在、介護サービス（ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイ等の住宅福祉サービスや、特別養護老人ホーム・老人保健施設・療養型病床群の施設福祉サービス）を利用もしくは必要としている方（本人または家族）は、役場福祉課窓口提出申请してください。在宅介護支援センターや民生委員による申請代行もできます。

要介護認定の申請受付を  
九月一日から開始しました

本紙と一緒に配布した介護保険制度のパンフレット

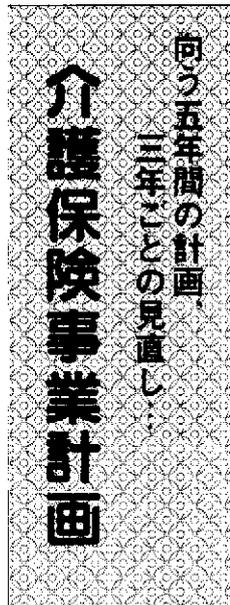
「よくわからない！」では大変です!!

『15分でわかる介護保険』

もぜひご覧ください。

# 介護保険事業計画策定委員会(1)

「介護保険事業計画策定委員会」は、昨年の八月一日、「被保険者代表」四人、「識見を有する者」二人、「関係団体の代表者」四人、「議会議員」二人の十二人の委員と九人の事務局員で発足しました。被保険者代表は全て女性、全体でも五人が女性という構成メンバーで、大久保三吉委員長のもと、現在までに五回の「策定委員会」と、六回の「自主勉強会」を開いております。



「介護保険事業計画」には、向う五年間の「介護サービスの種類ごとの量の見込み」、「介護サービスの見込量の確保のための方策」、「事業者間の連携の確保等介護サービスの円滑な提供を図るための事業」及び「その他保険給付の円滑な実施のための必要な事項」を盛り込みます。限られた資源を有効に活用するために計画的な介護サービスの設備を行うこと、全国的に大きな不均衡が生じないように標準的なサービス水準を確保すること、を前提に、今年度いっぱい検討を重ねます。

## ■気になる、六十五歳以上の保険料は…

「介護サービスの種類ごとの量の見込み」が決まると、六十五歳以上の第一号被保険者の保険料も決まってきました。

策定委員会では、現在の高齢者福祉サービスをより充実させるため、毎日配食サービス（仮）、紙おむつ等支給事業（仮）及びショートステイサービスの利用回数上乘せを介護保険に盛り込む方向で検討中です。

サービスを充実させることにより、保険料の基準額は三千円弱になりそうです。（所得に応じて、千五百円程度から四千五百円程度まで、五段階に区分されます。）

## 県内の第1号被保険者保険料分布状況

(7月末現在)

	川西町
2,000円以上2,500円未満	14市町村
2,500円以上3,000円未満	● 73市町村
3,000円以上3,500円未満	21市町村
3,500円以上4,000円未満	0市町村
4,000円以上4,500円未満	1市町村
計	109市町村

※112市町村中、4市町村は広域対応のため、1市町村として計上。

- 最高保険料 4,140円
- 最低保険料 2,074円
- 県平均保険料 2,824円



▲第5回介護保険事業計画策定委員会のようす

介護保険制度に関するお問い合わせは、役場福祉課高齢福祉係 ☎68-3111(内線232)まで



# 介護保険を知ろう【認定申請書の記入のしかた】



## 要介護認定の申請は簡単にできます。

申請用紙は、役場福祉課窓口、在宅介護支援センター及び民生委員のところに用意してあります。

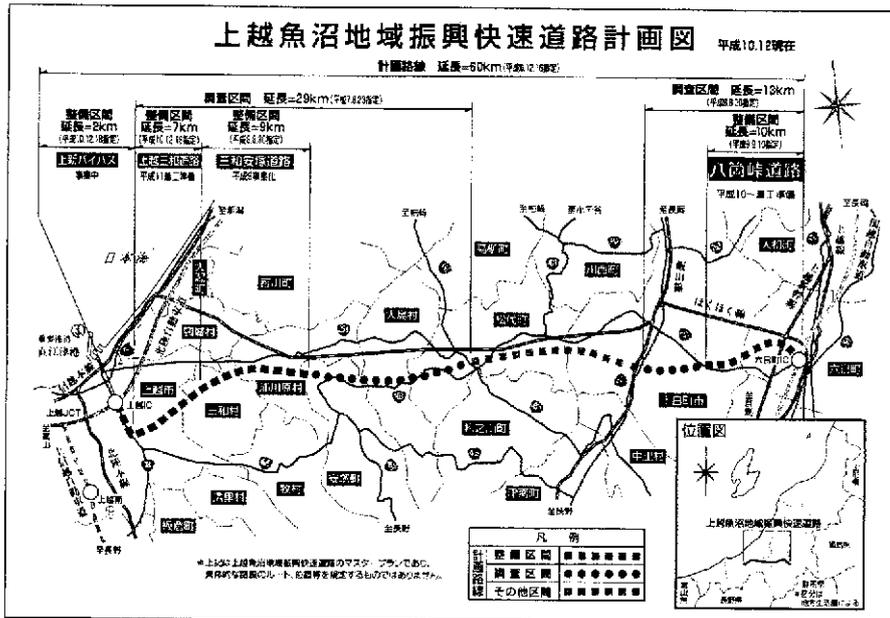
※介護を必要とする人「川西太郎さん」の家族が申請する場合の一例です。

介護保険要介護認定申請書	
川西町長 様 次のとおり申請します。	申請年月日 平成11年9月1日
申請者氏名 川西花子	本人との関係 子の妻
申請者住所 〒948-0000 川西町大字水口沢00番地 電話番号 68-0000	← 町内在住者は、「川西町」からでよい
提出代行者名称	Ⓜ ← 申請代行の場合、申請代行者は「印」を忘れずに
被保険者番号	※申請者が被保険者本人の場合、申請者住所電話番号は記載不要
フリガナ カワニシタロウ	生年月日 (明)大・昭 32年1月1日
氏名 川西太郎	性別 (男)・女
住所 〒948-0000 川西町大字水口沢00番地 電話番号 68-0000	← 町内在住者は、「川西町」からでよい
前回の要介護認定の結果等 *要介護更新認定の場合のみ記入	要介護状態区分 1 2 3 4 5 要支援 有効期間 平成 年 月 日から 平成 年 月 日
介護保険施設 有	入所施設名 所在地
入所の有無 (短期入所を除く) (無)	← 現在、施設入所の場合に記入
主治医	主治医の氏名 新潟一郎 医療機関名 〇〇診療所 所在地 〒948-0000 川西町大字高原田00番地 電話番号 68-0000
← かかりつけのお医者さんを記入	
2号被保険者(40歳から64歳の医療保険加入者)のみ記入	
医療保険者名	医療保険被保険者証記号番号
特定疾病名	
介護サービス計画を作成するために必要があるときは、要介護認定にかかる調査内容、介護認定審査会による判定結果・意見、及び主治医意見書を居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者又は介護保険施設の関係人に提示することに同意します。	
本人氏名	川西花子
← 介護を必要とする人もしくは家族のサイン	

町では現在、在宅高齢者200人、施設入所者70人くらいの申請を予想しております。  
 平成12年4月から、申請書を受理した介護を必要とする人全員に介護サービスの提供を行うには、平成12年3月までに、個々の要介護認定の判定結果に合わせて全員の介護サービス計画(ケアプラン)を立てなくてはなりません。  
 介護を要する方がおられるご家庭は、早目に申請をお願いいたします。

# 上越魚沼地域振興快速道路

## 「十日町・六日町間」整備促進総決起大会を開催



八月二十三日、十日町クロス10で、上越魚沼地域振興快速道路「十日町・六日町間」整備促進総決起大会が開催され、関係八市町村の関係者およそ一、〇〇〇人が参加。本地域における工事の早期着工と整備を要望する決議がなされました。

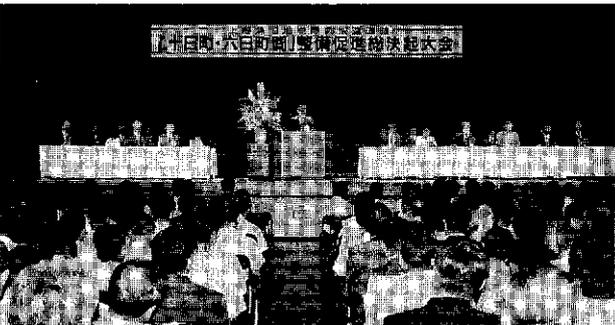
この路線は、上越市と六日町とを結ぶ約六十線の道路で、上越地域と十日町地域、そして六日町地域のそれぞれの中心都市を一本の規格の高い道路で結ぶことで上越―魚沼間の交通の便の向上と、それぞれの生活圏域の交通の促進などを図ることを目指しています。

平成六年十二月に計画路線六十線の指定を受け、平成七年度以降「上越市・松代町間、十日町・六日町間」が

調査区間に指定され、現在、「三和村・安塚町間九線」、「十日町・六日町間十線」、「上越市富岡・寺間二線」、「上越市・三和町間七線」がそれぞれ整備区間として指定され、一部着工及び準備を進めています。

今回、十日町・六日町間（名称「八箇峠道路」）の早期着工と、八箇インターチェンジ・十日町インターチェンジの区間を「整備区間」として早期に指定すること、一松代町・十日町間」を調査区間として早期に指定することなどが決議されました。

この道路が完成すれば、町から上越方面・六日町方面への往來に時間が短縮され、冬期間における危険の回避も図られ、地域間の交流なども盛んになることが予想されます。



「早期実現を望む」とあいさつに立った同整備促進連絡協議会の本田会長（十日町市長）（中央）

## 中国黒龍江省へ卓球交流第2回目の派遣



町長室で田口町長（右）からねぎらいを受ける選手団の皆さん

町が昨年度から取り組んでいる中国黒龍江省との卓球交流事業の第二回目となる派遣が、八月十六日から二十三日までの八日間の日程で実施されました。

交流選手団は、ハルビン市や北京などを訪問し、卓球先進地の技術を学び、異文化の見聞などをしてきました。

今回派遣された選手団は小海教育長を団長に、中学生八人（山口大樹さん・仁田）、平野裕さん（四郎兼）、清水弓弦さん（寺ヶ崎）、村越美香さん（野口）、羽鳥佐和子さん（仁田）、羽鳥奈津

希さん（木落）、和久井麻衣さん（木落）、丸山ことみさん（木落）、小学生一人（五十川裕さん（沖立）の九人の小・中学生と、王コーチら四人の関係者です。この一行には、田口町長も表敬訪問のため二十日まで同行してきました。

二十三日、町に到着した一行は、帰町報告をするため町長室を訪れ、町長は、選手一人ひとりから今回の派遣について感想を聞いていました。食事のこと、卓球技術のこと、異文化に触れたことなど、それぞれが印象に残ったことなどを語っていました。

# 喜

## 千手地区



# の

## 橋地区



(町内順に掲載 敬称略)  
(8月1日現在)  
**千手地区 四十人**

- |       |       |       |      |       |      |       |      |       |      |       |      |       |      |       |
|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|
| 高 原 田 | 沖 立   | 木 島   | 寺 尾  | 中 敷   | 神 町  | 田 中   | 中 央  | 上 町   | 東 善  | 四 郎   | 栄 町  | 発 電   | 山 野  | 中 島   |
| 田     | 立     | 島     | 尾    | 敷     | 町    | 中     | 央    | 町     | 善    | 郎     | 町    | 電     | 野    | 島     |
| 小林徳太郎 | 保坂五郎作 | 清水マサ  | 清水エイ | 清水喜久市 | 関口リン | 高橋ヒサ  | 高橋ヒロ | 高橋勇作  | 高橋ミユ | 野上英二  | 大井シン | 南雲久守  | 平野正義 | 平野美代  |
| 茂野佐平  | 柄澤トノ  | 数藤住代  | 数藤住代 | 数藤住代  | 数藤住代 | 高橋ヒロ  | 高橋勇作 | 高橋ミユ  | 野上英二 | 大井シン  | 南雲久守 | 平野正義  | 平野美代 | 柳ヨサ   |
| 平野ヨリ子 | 丸山トノ  | 藤田宏太郎 | 川崎フヂ | 小野塚真代 | 太田政雄 | 平野ヨリ子 | 丸山トノ | 藤田宏太郎 | 川崎フヂ | 小野塚真代 | 太田政雄 | 平野ヨリ子 | 丸山トノ | 藤田宏太郎 |

**上野地区 十三人**

- |       |      |       |           |         |
|-------|------|-------|-----------|---------|
| 高 原 田 | 坪 山  | 高 橋 重 | 高 橋 未 年 治 | 佐 藤 カ ネ |
| 田     | 山    | 重     | 治         | ネ       |
| 小川ソワ  | 上村廣治 | 富井タキ  | 入澤之夫      | 金子ハヤ    |
| 押木ヨネ  | 小林シゲ | 若山ヨシ  | 若山ヨシ      | 若山ヨシ    |
| 清水リイ  | 仲嶋テイ | 小海正吉  | 小海正吉      | 小海正吉    |

**橋地区 二十人**

- |     |         |         |         |         |         |         |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 木 落 | 羽 鳥 清 次 | 田 口 梅 野 | 相 馬 イ ネ | 片 桐 シ ツ | 小 幡 藤 吉 | 秦 野 一 郎 |
| 落   | 清 次     | 梅 野     | 伊 ネ     | シ ツ     | 藤 吉     | 一 郎     |



町公民館事業「ふるさと探訪」の人たちが、切り絵の初歩を学びました



# 切り絵の集いを開いて交流

8月6日から8日まで、切り絵作家木本有太可さん（東京切り絵会会長・東京府中市在住）とそのお仲間の切り絵の作家の皆さん10人が、高倉の「ゆうゆうの家（木本さん所有）」で作品展示会を行い、地域の皆さんと交流を深めました。

また、埼玉県和光市本町小学校の児童の皆さん13人を含む、東京都周辺在住の皆さんおよそ30人が同行し、郷土料理講習会や交流イベントをして楽しみました。

# 女性問題地域懇談会を開催

8月6日、町総合体育館で、県の主催による女性問題地域懇談会が開かれました。この催しは、「地域における男女平等をめざす意識づくり」をテーマに、様々な分野の方から意見をお聞きするというもので、町の12人の皆さんから集まってもらいました。

「女性らしさ・男女らしさ」を求める意見や、「女性・男性という特別意識はしていない」という意見もありました。今後、いろんな機会をとらえて意識づくりをすることが必要となっています。



地域における男女平等の意識づくりを語る参加者



待ちどおしかった夕食タイム

# 土木事業を知ってもらうために

土木事務所は、住民の生命財産を守る、河川などの整備、私たちの暮らしの充実と地域産業の発展を支える道路などの整備、暮らしに潤いと安らぎを与える公園などの整備やこれら施設の管理などがあります。

十日町土木事務所（葦沢伸昌所長）では、地域の皆さんから土木の役割を知っていただくとともに、実施している事業の理解をより深めていただくとうと、毎年、管内市町村内において「土木事業現場見学会」を実施しています。

八月二十六日、今年も川西町内の事業などを紹介する機会が設け

# スポ少キャンプ20周年

川西町スポーツ少年団（宮啓一本部長・団員一六八人）の合同キャンプが今年で二十回を迎えました。この合同キャンプは、野球・卓球・柔道・空手・バレーボールの各スポーツ少年団で体力づくりに励んでいる団員が年一回夏休みを利用して一堂に集まり、自然の中でお互いの共通理解を深め、共同生活を通して思いやりの心を育み、心身を鍛錬することを目的に

開催されています。第一回は昭和五十五年八月に大蔵寺キャンプ場（松之山町）で開催されました。以来、毎年百人前後が参加するスポーツ少年団の恒例行事となっています。今年も、八月七日、八日と銀山平キャンプ場（湯之谷村）で実施され、参加者は家庭生活では味わえない様々な体験を通して、交流を深めていきました。

られ、橋小学校と父兄ら四十人がこれがこれに参加しました。

参加者は、町内で実施されている水環境整備事業（伊勢平治）、国道403号トンネル工事（大貝



大貝く小白倉間トンネル工事現場で話を聞く参加者

く小白倉）、ふるさとづくり河川事業（中仙田）などを見学し、土木の事業などについて理解を深めていきました。



整備された河川の石が「接着剤で張り付けた」と聞いてビックリしていました

町では、平成12年4月1日採用  
予定の保健婦・保健士1人を次の  
要領で募集します。

### 受験資格

昭和45年4月2日～53年4月1  
日までに生まれた人で、保健婦・  
保健士の免許取得者又は同国家試  
験により免許取得見込みの者。

### 検査の日時、会場及び方法

日時 10月下旬  
会場 川西町地域活性化センター

方法 作文検査、面接検査、身体  
検査

### 採用日

平成12年4月1日の予定

### 受験の手続

### 申込書の請求先

川西町役場総務課行政係  
〒948-0192 中魚沼郡  
川西町大字水口沢12番地  
☎0257-68-3111  
内線302

### 申込方法

受験申込書に所要事項を記入、  
押印。

写真(縦4cm×横3cm 無帽止  
面上半身)1枚を張り、行政係へ。

### 申込書の受付期間

9月20日～10月5日(消印は、  
10月5日まで有効)

### その他

・申込書を郵送で請求する場合は、  
120円切手を同封してください。  
・申込書を郵送で提出する場合は、  
書留郵便など確実な方法で提出し  
てください。

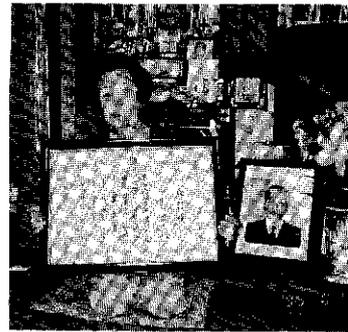
### ※問い合わせ先

総務課行政係

## 小幡さんら三人に厚生大臣表彰

このほど、故小幡正徳さん(仁

田・74歳)、南雲ハルエさん(中  
仙田・67歳)、清水リイさん(下  
平新田・76歳)に、厚生大臣表彰



夫の遺影と共に表彰を喜ぶ小幡さん

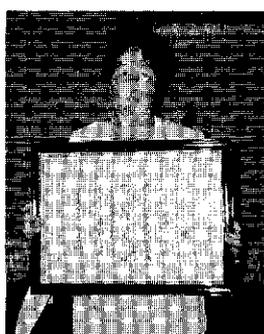
が贈られました。

小幡さん・南雲さんは、昭和五  
十二年十二月から平成十年十一月  
までの二十一年間、民生委員・児  
童委員として社会福祉の増進に貢



南雲さん

献された功績が認められ、また、  
清水さんは昭和五十八年十二月か  
ら平成十年十一月までの十五年  
間、民生委員・児童委員として社  
会福祉の増進に貢献したことが認  
められたものです。



清水さん

## 九月の気象

九月になると北から南へ、山か  
ら里へと足早に秋がやってきま  
す。北海道ではさわやかな秋晴れ  
の日が多くなります。一方、本州  
付近では夏の間日本を広く覆って  
いた太平洋高気圧の勢力が弱まる  
と秋雨前線が停滞しやすくなり、  
残暑が終息したころ秋の長雨とな  
る所が多くなります。

また、九月は日本列島が台風の  
通り道にあたる季節でもあり、過  
去に大きな被害をもたらした台風  
の多くが襲来しています。

### ◇気温と日照

気温の日別平均値を見ると、気

温の下がり方が一年のうちで大き  
いのは、九月から十一月にかけて  
となっています。中でも九月は、  
八月下旬の緩やかな下がり幅が大  
きく変化する時期にあたります。  
気温の下がり方は、地方によって  
異なります。

### ◇台風と秋雨

立春から数えて「二百十日(九  
月一日ごろ)」、あるいは「二百二  
十日」に当たる日は、台風を警戒  
する日とされています。台風は月  
別発生数や接近数は統計的には八  
月が最も多いのですが、九月の台  
風は勢力を保ったまま日本を縦断  
するようなコースを取ることが多  
く、過去に大きな被害をもたらした  
台風は、いずれも九月に上陸又

は接近しています。

日本付近に秋雨前線が停滞して  
いるときには、台風の接近により  
前線活動が活発となることがあり、  
台風の中心がまだ南海上にあり  
る場合でも、大雨に対する注意が  
必要です。台風の接近前から雨が  
降り続いてきた場合には、土砂災  
害が起きやすい  
状態になってい  
ますので、各地  
の気象台が発表  
する最新の台風  
情報や注意報を  
ご利用のうえ、  
一層の警戒をお  
願います。



# 黒創プラン 通信

9

ステキ発見に  
三、一〇〇点を超える応募

一年間をかけて実施した写真と言葉のコンテスト「越後妻有8万人のステキ発見」の応募集計結果がまとまりました。それによると応募総数は三、一四四点となり、目標にしていた三、〇〇〇点を達成しました。多くのご応募、大変ありがとうございました。

部門別では一般部門一、五四八点、ジュニア部門一、三〇〇点、芸術部門二六六点となっています。写された市町村別では、十日町市一、二五五点、川西町四八五点、

津南町三〇〇点、中里村四六六点、松代町一四五点、松之山町四六三点。応募者の地域別では地域内が二、三二四点、当地域を除く県内が三三八点、県外が四六二点となっています。

集まった作品は、地域ならではの自然、祭りや人々の表情、白樺料理などバラエティに富んでおり、八月十九日・サンクrost日町で地元審査委員十一人(審査委員長・佐野良吉さん)による第一次審査が開催されました。審査員は、作品の多様さにびっくりしながら、ポイントであるコメントも含めて一点一点慎重に審査しました。ここで選ばれた作品は、九月中旬・東京での大岡信さんほか六人の審査員による本審査にかけられ、ステキ賞などが決定します。発表及び表彰は十月十六日・クロス10を予定しています。

## 津南町で「似顔絵づくり」ワークショップ

大地の芸術祭では、世界で活躍する作家を招き、地域の題材をもとに作家がテーマを提案し、地域の子供たちや住民の皆さんとふれ

あいながら協働で作品づくりを行うアートワークショップを平成九年から開催します。

今年第一回は、七月二十六日から三十一日にかけて、ベエロニク・ジュマールさん(フランス)を迎え、津南町旧消防分遣所を会場に津南小学校と津南中学校の希望児童・生徒合わせて二十五人が参加して行われました。昨年までは、作家が半日単位で小中学校を回って実施していましたが、今年はいっしょに会場に一週間腰を据え、来年度の大地の芸術祭で発表する子供たちの作品づくりを中心に開催。その内容をレポートします。

### ◆まずは材料集め

テーマは、津南町の四つの場所のポートレート(似顔絵)づくり。初日は、自分の行きたい場所を、沖ノ原ひまわり畑・中津川運動公園・津南町市街地・マウンテンパーク津南の中から選び、班分けしました。二日目は、実際に四つの場所で作業。スケッチや写真、テープレコーダーなどで場所の特徴を写したり、石や流木、草花などの材料を集めたりしました。真夏の炎天下、一日かけて作業するグループもあり、ジュマールさんは車で四か所を巡回し、子供たちの作業に目を配っていました。

### ◇パネルいっぱい自己表現

三日目からはいよいよ似顔絵作



写真を見ながらジュマールさんと構想検討中

り。一人ずつに90センチ×90センチの大きなパネルが配られると、最初子供たちはその大きさに戸惑い気味。もう一度材料集めに戻る子や、パネルを前に構想を練る子など様々。ジュマールさんのアドバイスを受けながら、写真と風景画、言葉を組み合わせた、小石や草花を張り付け直接パネルに画を書き込んだり、そのスタイルも個性にあふれています。四日目・五日目と作業が進むと、町中の人たちの足だけをたくさんスケッチした「一足のポートレートや、多様なひまわりが咲き誇るポートレート」など二十五点の作品はほぼ完成。会場の壁いっぱい展示。

### ◇完成発表会

最終日の七月三十一日、保護者などを招いて完成発表会。子供たちもすっかりジュマールさんと打ち解け、記念写真を撮ったり、質問したりしていました。ジュマールさんから「このプロジェクトに参加することになったとき、この

地域の自然の風景に興味を持った。ワークショップで子供たちと一緒にその風景の中で作業し、より深い理解が得られたと思う。来年は子供たちの作品とともに自分の作品が発表できるのがうれしい」とのあいさつがあり、六日間のワークショップは無事終了しました。

### ◇第二回は鉢集落

(十日町市)で開催

第二回は、ブルーノ・マトンさん(フランス)を迎え、八月二十一日から二十七日まで、十日町市の鉢集落にかかりのある方々を対象に、真田小学校体育館で開催しました。詳しい実施内容は次回に報告します。

※問い合わせ先

十日町地域広域事務組合  
企画振興課(☎5712637)



発表会でジュマールさんを  
囲んで記念撮影

# 川西町長選挙②

岩瀬 金子 幸作

## 初代町長の選挙

町名や役場位置の問題で激しい

論戦を展開し、難産の末に千手町・上野村・橋村・仙田村の対等合併が決まったのは昭和三十一年六月十一日の合併協議会であった。この時点ではまだ、初代町長選挙にはだれが名乗りをあげるのか漠然としていたが、川西町が誕生する九月一日から五十日以内に選挙を執行することがわかると、出馬すると思われる人たちが旧町村ごとに取り沙汰されて俄然あわただしくなり、自せん、他せんが入り混って憶測を呼び、町村民の関心は町長選挙に集中した。

合併直前の町村の様子を、十日町新聞（昭和三十一年八月三十日号）が「選挙か無競争（無投票）か、初代町長が関心の的」と題して次のように報じている。

### 噂に上る顔ぶれ

九月一日に発足する川西町の初代町長選挙は九月廿日頃（首脳部の話）になる模様だが、早くも立候補をめぐって活発な動きを見せている。こうした中に本月二日、東京で療養中の仙田村長押木伸

治氏が退院することになっており、一段と選挙前哨戦の様相を濃くするものとみられる。

まず一応立候補の噂さののぼる顔ぶれをひろつてみると、千手町では丸山現町長と中村前町長の両氏。上野で押木（利）村長、橋は羽鳥朔市氏、仙田へ行って押木（伸）村長、増田克治氏といったところ。千手町の丸山現町長は「町長の席」についてからまだ一年有余、「大した失策もなかったのだし、もう少し続けさせたい」と支持するものも相当あり、まず出馬はほぼ確実とみる向きが多い。それなら「前回破れた中村氏が出るだろう」と取ざたされているが、本人は「絶対出ない」と言明しており、対抗馬として仙田の増田氏の担ぎ出しに回っているようだ。

上野村の押木村長も最近「積極的に支持する」ものが押しかけている模様だが「職務執行者だから」と全然出る意志がない。同様に橋の羽鳥氏も今のところ呼声は薄い。そこで仙田で誰れが出るかと興味焦点がしぼられるが、押木村長が帰郷するまではほとんどして「仙田の押木村長こそ……」とかなり呼び声も高いが、退院す

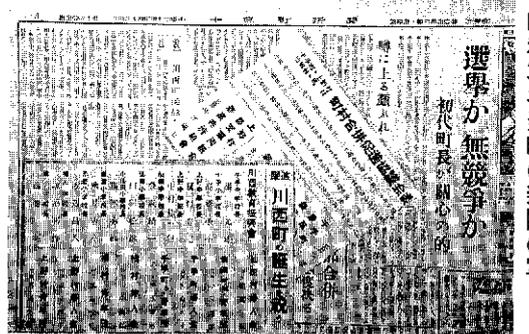
るとはいえ、健康体になって出馬できるかどうか心配する向きもある。増田氏は最初から出る意志はなかったようだが、四囲の運動でどのような動きを見せるか注目される。いずれにしろ丸山町長に對抗して仙田あたりから増田・押木氏のいずれか名乗り出るだろうとみる向きが多い。

### 中村・丸山氏立つ

町選挙管理委員会は、町長選挙を、秋の農繁期をさけて十月一日に執行することを決めた。九月二十四日の告示と同時に届け出たのは丸山恒正、中村壮吉、齋木名賀吉の三人で、とくに中村壮吉と丸山恒正の間で活発な舌戦が交わされた。当時の模様を再現するため、十日町新聞（昭和三十一年九月二十五日号）の記事を次に掲げる。

川西町長選挙は、きのう告示と同時に激戦の火ぶたを切ったが、午前早くも予想された中村壮吉、丸山恒正の両氏が立候補届け出を行い、街頭で第一声を放った。中村氏は仙田の増田克治氏を責任者にすえて、中央町木島の市川富二さん方に選挙事務所を開き、前回の雪辱を期せば、丸山氏もまた中央町中屋敷の小林伝司さん方に選挙事務所を設け、橋の元老野沢秀保氏を責任者にすえて必勝を期している。なお二十日現在の川西町有権者は八千七百五十一人。旧町

昭和31年当時の新聞の写し



村別では千手二千七百五十人。上野一千二百九十七人。橋一千六百二十九人。仙田三千七十五人となっており、町選挙管では投票率は八十五%から九十%と見ている。

### 産業の振興を

中村壮吉候補

三つを公約して選挙戦を進めた。①川西は今まで貧乏すぎたが裕福になりかけたのでテコ入れしたい。米作を主体に有畜産業の振興を図る。水田の裏作についても一歩進んだ方法があるはずだ。②教育文化施設を整備する。学校建設も総仕上げの段階にきた。今後は統合問題にも目を向けたい。生活文化の向上を目指す。青年層は、農村の生活改善なくして地元にとどまるものはないだろう。③国鉄固定資産税を存続させたい

川西町の主要財源確保のために最も力を注がなければならぬ。新町建設五か年計画には直接タッチしなかつたが、当選したら再検討し自分なりの政策を折込んでいく。

### 光る金を使う

丸山恒正候補

川西町大同合併を実現して新町建設五か年計画をつくりあげた。健全財政をあくまでも堅持したい。私の言う健全財政というのは緊縮ということではなく、皆さんの大切な税金を「光る金」としてお役に立てたいということである。基本的な政策は五か年計画の忠実な履行であるが、特に交通通信網の整備促進と、農業を中心とした商工業も併進したい。教育面では老朽校舎の増改築から手をつけ、施設を充実して児童生徒の気分転換を図り、機会均等を実現させていきたい。国や県の事業を可能なかぎり導入し、住み良い豊かな町をつくるために頑張りたい。

### 立会演説会

町長選挙の立会演説会が次の日程で開かれることになった。

二十八日午後一時 橋中学校

夜八時 上野小学校

二十九日午後一時 仙田中学校

夜八時 千手中学校

※本稿の資料は高橋源吾十日町新聞編集長からいただきました。

# お知らせコーナー

## 息らくらく教室

### ★日時

9月24日・29日、10月15日  
いずれも、午後1時～4時

### ★場所

十日町市身体障害者福祉センター  
一 集會室

### ★対象者

肺気腫、気管支喘息、じん肺、  
肺結核後遺症者などで息切れ・  
咳・痰などの症状でお困りの方。

### ★内容

肺機能検査、肺の病気について  
の医師の講話や個別相談、理学  
療法士による呼吸法の実習、参  
加者同士の座談会、保健婦の生  
活指導など。

### ★参加申し込み

十日町保健所地域保健課「息ら  
くらく教室」担当者まで。

(☎57-2400)

## 電話帳を回収します

NTTでは、新しい電話帳「中  
越タウンページ」を九月中旬から  
末日までの間に企業や家庭にお届  
けします。

その際、今までお使いの電話帳  
は、紙資源として再利用するため  
回収させていただきますので、配

達員が新しい電話帳をお届けした  
ときに、今までお使いの電話帳を  
お渡しください。

また、NTTのお客様窓口にて電  
話帳回収ボックスを設置し、十月  
末まで回収をしますので、ご協力  
をお願いいたします。

### ※電話帳回収についての連絡先

NTT電話帳お届けセンター  
フリーダイヤル  
☎0120-324182  
受付時間は、土・日・祝日を除  
く九時から十七時までです。

## 町安協が用品を寄付

川西町交通安全協会（鈴木義一  
会長）では、このたび町内各小学  
校PTAから交通安全運動の際に  
活用願いたいと、たすき・腕章・  
帽子をそれぞれ三十個ずつ寄付さ  
れました。



## 計画外流通米の販売には届け出が必要です

生産者が消費者や販売業者に直  
接米を販売するときは、あらかじめ  
食糧事務所届け出てください。

この届け出は、米の流通量や流  
通実態を把握して、米の需給と価  
格の安定を図るための重要な基礎  
資料となります。

届け出用紙は新潟食糧事務所十  
日町支所に用意してありますが、

農協や役場農林課窓口にもありま  
す。郵便やFAXによる届け出も  
受け付けています。

### ※届け出先

農林水産省新潟食糧事務所十日  
町支所  
(☎0257-57-6521)  
(FAX 57-6522)

## 国民年金の『前納制度』をご存じですか

国民年金の保険料納入方法には、前納という制度があります。この前納制  
度とは、ある一定期間の保険料を前もって納める制度です。前納は納め忘れ  
を防ぐだけでなく、年5.5パーセントの割引率で大変お得です。

今回は、平成11年10月から12年3月までの6か月前納をお勧めします。

区 分	毎月納付	6か月納付	割 引 額
定額保険料の場合	79,800円	78,920円	880円
定額付加保険料の場合	82,200円	81,290円	910円

前納を希望される方は、9月30日までに役場住民課住民係へ申し込みください。  
後日、六日町保険事務所から納付書が送付されます。

## 秋の全国交通安全運動

期間 9月21日(火)から9月30日(木)まで

スローガン 夕暮れは ライトをつけて 気をつけて

平成12年度

## 県立テクノスクール 訓練生募集

### ■募集科目

- ◎高等学校卒業生対象科  
・メカトロニクス科・NC機  
械科・自動車整備科・電気  
システム科・電気施設科  
・OA事務科・ホテルビジネ  
スコ・織布科
- ◎義務教育修了者以上対象科  
・溶接科・金属プレス科・建  
築科・左官科

### ■募集受付期間

- ◎推薦選考（高卒対象科のみ）  
9月16日～29日まで。
- ◎一般選考  
10月15日～29日まで。

### ■選考日

- ◎推薦選考 10月13日(水)
  - ◎一般選考 11月12日(金)
- ※各テクノスクールで募集科が異  
なりますので、詳しくは最寄り  
の県立テクノスクールへお問い  
合わせください。

- ・新潟テクノスクール  
(☎025-247-7361)
- ・上越テクノスクール  
(☎0255-45-2190)
- ・三条テクノスクール  
(☎0256-38-8520)
- ・十日町テクノスクール  
(☎0257-57-1105)
- ・魚沼テクノスクール  
(☎02579-4-2410)

# 善意

(敬称略)

福祉に

関口 敏行(学校町)五万円



かわなし  
併壇  
高崎正風選

三日月に寝つかれぬ窓開けにけり  
よく成りし南瓜に向かい一人言

八王子市 松浦 サク

休耕の田に蕎麦の花白かりき  
天の川見上げ亡き夫偲びけり

田中町 石沢 澄代

空蝉がネギの葉しかと抱いており  
田を回る務め帰りの青田風

小白倉 田中 優美

父よりも齢だけ越えし墓参かな  
終戦日今はただ墓に堪えるのみ

練馬区 須藤 遊人

点滴の残りわずかや蝉の声  
通り雨行きて大きな虹の立つ

綾瀬市 野沢ますえ

盆の暴力をこめて洗いけり  
夜べの雨残暑いくらか柔きし

山野田 藤田ひろ志

押し花の芙蓉のうすくすき通り  
学童のラジオ体操秋暑し

野口 村越 由喜

蛸や静かにくるゝ櫛の寺  
流れ星ただ一言を忘れけり

足立区 涌井ハル子

大やんま生けるが如く地に伏せり  
帰省客賞を貰ひし盆踊

寺尾 白井すみい

水源の盡きて猛暑の棚田かな

水原の盡きて猛暑の棚田かな

田に畑に恵みの雨のお盆かな  
踊る輪の灯に迷い来し油蟬  
帰省の娘お送るホームの大西日  
下り立てば月の明るき無人駅  
水捨てに出て名月に合ひにけり

高倉 齊木 和人  
岩瀬 登坂伊智子

穂芒に頬撫でられつ句碑の道  
野路築し七草千草咲き乱れ

小白倉 江口みゆき  
霜条 大海 白涛

黒姫の夕焼け望む棚田かな  
豊作となるらし稲の穂の垂る、

大倉 中條 石平

ぢりぢりと大地はやけて蟬の声  
虫の音や故郷の山河懐かしき

元町 田畑 吉治

指をみな汁に濡らして西瓜食う  
雄弁家いる夏の夜の縄のれん

新町新田 若山 向山

峡の田のまだまだ青し稲の花  
曾祖母の育ちし里や鬼芒

上町 高橋 願似

眠れぬ夜立秋告げる虫の声  
炎天下熱闘続く甲子園

浦和市 登坂 博史

## 寸感

●よく成りし——大南瓜に対する作者の姿が色々に想像されて面白い。また「一人言」がいい。

●天の川——夫の星はどれであるうか。星に寄せての亡き夫を偲ぶ作者の情が、しみじみと伝わってくる。

# 肥満は生活習慣病のモト

## あなたは大丈夫？

肥満の人は正常体重の人とくらべて糖尿病で五倍、高血圧、心臓病で三倍近くの発症率があるといわれ、ほかにも動脈硬化、脳血管障害、脂肪肝などあらゆる生活習慣病のモトになります。

肥満の原因には食べすぎ、食べ方の誤り、運動不足、遺伝などが関係しますが注意点をあげてみましょう。

- 一日三食を守る(朝食をぬかない)
- 食べ過ぎなくても一日二食とか、一度に多く食べ、食事間隔が長い食べ方は栄養が吸収されやすく、太る原因になります。また朝食をかかさずとり栄養のバランスの偏りを防ぎましょう。
- 食物繊維をとる
- 食物繊維は脂肪になりやすい糖質の吸収をおさえます。(食物繊維を多く含む食品)
- テレビに夢中、仕事で頭がいっぱい、というなかでの食事は無意識のうちに必要以上の食物を口にはこんでしまいます。
- 寝る前に食べない
- 食べたあと寝るだけではエネルギー消費は微々たるもの。ほとんどのエネルギーが脂肪となって蓄積されます。
- 運動習慣を身につける

意識して日常生活に運動をとり入れることが大切。階段をつかう、近くには歩いて行くなど。

食べ過ぎず、適度な運動を心がければ肥満は解消できます。……とはいえ、いうとするでは大違い。自己分析をしてなにが原因で太るのか。これを知ることが肥満解消の第一歩です。



## 診療所臨時休診のお知らせ

9月13日(月)は、富永所長が介護認定審査会委員研修のため、午後から臨時休診となります。

## 表紙の写真

7月28日から8月2日までの6日間、仙田地区を拠点に川西町子ども村が開設されました。これは、町子ども村実行委員会(押木貢会長)が主体となって進めているもので、今回で10回目。

参加者は、水くみから食事作り、農家で野菜などの収穫の手伝いや、イカダに乗っての川下りなど、いろいろの活動を体験しました。「友達をつくらう、自然を知らう、自分の力をためしてみよう、工夫すること覚えよう」というテーマに、参加した40人はそれぞれのテーマを十分こなしていたようです。

今回は、3年ほど天候不順でできなかった「イカダ下り」の写真を掲載してみました。

## 休日救急医

9月12日	高木医院 (土市)	58-2361
〃	中条病院 (中条)	57-3018
15日	川西町診療所 (高原田)	68-2034
〃	上村病院 (中里村)	63-2111
19日	田中外科医院 (田中町)	52-2403
23日	山口医院 (袋町)	52-2174
26日	第二藤巻医院 (上野)	68-2018
〃	津南病院 (津南町)	65-3161
10月3日	大熊内科医院 (山本町)	52-7066
10日	山口医院 (下条)	55-2003
〃	上村病院 (中里村)	63-2111
11日	大坪医院 (四日町)	57-6100

# 戸籍の窓から

たかさごーご円満に

(内山 竜 哉 新町新田  
桑原 裕 美 十日町市

うぶ声ーおすこやかに

佐藤 巧<sup>たぐみ</sup> 知明 中仙田  
渡辺 朱莉<sup>しゅり</sup> 正 東善寺  
由加利

## 昇天ーごめい福を祈る

渡貫 徳夫 41 (本人) 新町新田  
酒井 アイ 55 (一夫) 寺尾  
丸山 長一郎 62 (本人) 下原  
小林 功七 68 (本人) 中仙田  
尾身 タマ 78 (正夫) 発電所通り西  
小林 清 82 (浩一) 中仙田  
田口 文治 83 (本人) 上野  
清水 賢三郎 84 (本人) 小根岸  
茂野 初恵 87 (雄一) 下平新田  
富井 カト 96 (宏行) 上野  
(8月1日ー31日届け出分)

## 「かわにし自満祭」11月6日ー7日に開催

第4回を迎える「かわにし自満祭」は、今年は町総合体育館、川西中学校、町総合センターを会場に、11月6日ー7日の両日、多彩な催しが実施されることになっています。内容などは、10月号本紙でお知らせいたします。

かわにし いいとこ

### 写真コンテスト作品募集

今年で4回目のフォトコンテスト。住んでいる人だけが知っている自然や風景。そして、訪れたあ



去年の推薦作品  
根津さんの「朝景」

※問い合わせ先  
教育委員会生涯学習課  
(☎ 68-2167)

### ★サイズ

プリントで四ツ切、またはワイド四ツ切に限る。

### ★応募締め切り

10月10日必着

### ★応募先

本写真コンテスト応募票の置いてあるお店に持参。

# ちいさな展覧会

131

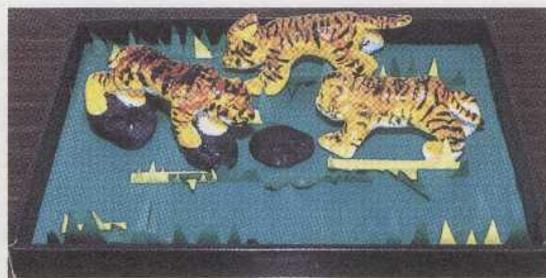
上野小学校



「リサイクルバッグ・クッション」  
6年生 押木 霞さん



「キタキツネのさんぽ」  
4年生 高橋 未来さん



「とら」 2年生 とみいじゅん くん



「家の貯金箱と小物入れ」  
5年生 金子 尚矢 くん  
(10月号は橋小学校です)



「わたしがテレビにでたら」  
1年生 くらしなゆきこ さん



「ビーズで作った夢」  
3年生 田村 圭祐 くん



「かえるのハウス」  
4年生 田村 沙貴 さん